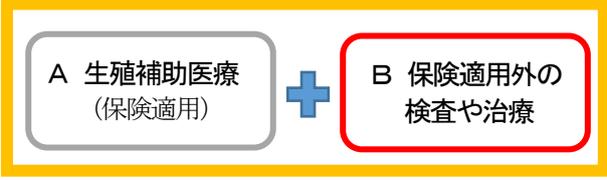
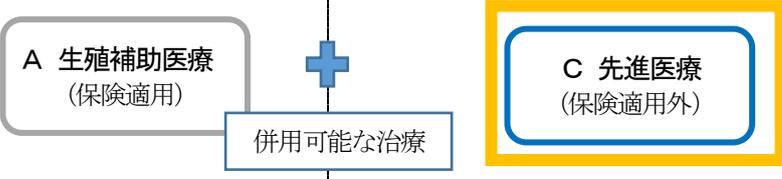
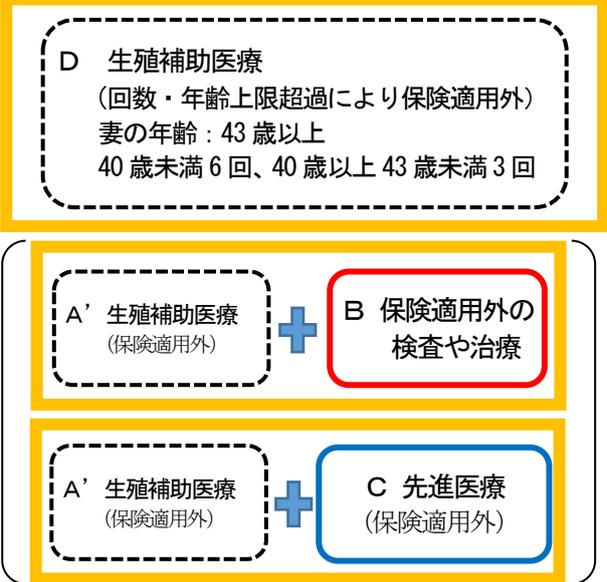


不妊治療支援事業における助成の範囲

 内の治療費が助成対象となる

以下の表で、生殖補助医療とは、体外受精及び顕微授精のことを言う。

	保険適用	保険適用外	助成金
不妊治療	A 生殖補助医療 (保険適用) 妻の年齢：43歳未満 回数：妻40歳 6回 妻40～43歳 3回		
		 ※ 混合診療は禁止されているため、1回の治療全てが保険適用外となる	保険適用外となる治療への助成 上限30万円 ＊採卵を伴わない場合は上限10万円 ＊男性不妊治療を行った場合は上限30万円を上乗せ ＊40歳未満6回 40歳以上43歳未満3回まで
	A 生殖補助医療 (保険適用)		先進医療への助成 上限10万円 ＊40歳未満6回 40歳以上43歳未満3回まで
			回数上限超過、年齢上限超過の場合の治療への助成 上限20万円 ＊採卵を伴わない場合は上限10万円 ＊男性不妊治療を行った場合は上限20万円を上乗せ ＊保険適用外の治療3回まで
不妊検査			不妊症検査への助成 ＊検査開始から1年以内実施した検査 上限3万円 ＊1組の夫婦につき1回

※助成回数は出産又は妊娠12週以降の死産によりリセットする